

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	科学技術と倫理		
英文授業科目名	Science Technology and Ethics		
開講年度	2008年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	中島 義道		
居室	東1-605		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nakajima@hc.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
いわゆる「応用倫理」のうち科学技術に直結するものを扱う。生命、環境、情報などをめぐる論議で、古典的な倫理観が崩れている現状において、われわれはいかにすべきか？ 達成目標は、問題の所在を正確につかみ、それに対する自分固有の見解を築き上げること。

【前もって履修しておくべき科目】
とくになし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
とくになし。

【教科書等】
(例) 教科書：とくに指定しない。 参考書：授業中に適宜紹介する。

【授業内容とその進め方】

a 授業内容

- 1．応用倫理学とは何か？
- 2．生命倫理をめぐる諸問題
ヒトゲノム、胎児の人権、脳死、安楽死、動物の権利、臓器移植など。
- 3．環境倫理をめぐる問題
人間中心主義、新たな差別構造、生態系主義など。
- 4．情報倫理をめぐる問題
知らない権利、愚行権、所有権・プライバシーの権利の変質など。

b 授業の進め方

一方的に講義するのではなく、学生諸君が「参加」する授業形態を実現したい。

c 授業時間以外の学習（予習・復習等）について

この授業のテーマは、注意深くしていれば連日のようにジャーナリズムをにぎわしているの、細かくチェックして考察してみること。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

授業に積極的に参加すること。適宜レポートの提出あるいは口頭発表を要求する。「応用倫理」という茫漠とした領域において、何が問題かを自分の頭で考え正確に言語化することができるか否かを判定する。可の基準は、線引きは難しいが、欠席が2日を超えないこと、レポートの不提出が1回を超えないことという条件の下で、期末試験に半分程度解答できていること。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、メールなどで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

問題を自分の「からだ」で考えること。考えたことを自分の言葉で表現すること。

【その他】

とくになし。